

月指導計画 0歳児

園長	副園長	主任	担当	園長	副園長	主任	担当

5月のねらい		教育・保育	<ul style="list-style-type: none"> ○個々に合った生活リズムで過ごしなが、すすんで這う、歩くなど体を動かす。 ○保育教諭と触れ合いながら安心して過ごし表情や仕草で自分の思いを表す。 ○身近な環境に親しみ、見たり触れたりすることで、表現を豊かにする。 		
<p>●一人一人の生活リズムを大切に、保護者と連携しながら新しい環境に慣れるようにする。</p> <p>●新しい環境による不安な気持ちを受け止め、安心して過ごせるようにする。</p>	<p>◆快適に過ごせるように、保育室や玩具を清潔に保ち、室温・湿度の調節や換気をこまめにする。</p> <p>◆園児が安心して遊べるように玩具を用意し、落ち着いた雰囲気をつくる。</p> <p>★一人一人の発達に合わせて、ゆったりと関わり合い、安心して過ごせるようにする。</p> <p>★子どもの欲求にこたえ、言葉かけをし抱っこやスキンシップ・触れ合い遊びを通して安心感を得られるようにする。</p>	<p>○予想される遊び ☆保育教諭の援助 ・環境構成</p>			
★保育教諭の援助		<p>◇個々に合った生活リズムで過ごしなが、すすんで這う、歩くなど体を動かすことができるように</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つかまり立ちや伝い歩きができるように、手押し車やバンバンカーなど、歩行を促すことができる玩具を準備しておく。 ○戸外遊び（すべり台・ボール） ○室内遊び（マット登り・手押し車・階段登り・園内探索など） ☆ボールや転がる玩具などを準備して動きを誘いかけ、行きたい所へ行ける喜びを味わえるようにする。マットの山を乗り越えるなど四つ這いに繋がる遊びを楽しめるようにする。 ☆保育教諭も同じ姿勢で一緒に遊び、体を動かして遊ぶ楽しさに共感していく。 <p>◇保育教諭と触れ合いながら安心して過ごし表情や仕草で自分の思いが表せるように</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心地良く遊べるように、音楽を流したり、明るい部屋で風を通したりする。 ・安心して喃語を発することができるように、和やかな雰囲気を作る。 ○触れ合い遊び ○歌を歌う ○絵本を見る ○ベビーマッサージ ☆表情やしぐさ、喃語を受け止め、目を合わせ、触れたり、言葉を添えたりして、応答的に関わる。 ☆目を見て優しい笑顔で話しかけたり、スキンシップを図ったりすることで、保育教諭との関わりを喜べるようにする。 <p>◇身近な環境に親しみ、見たり触れたりすることで、表現を豊かにすることができるように</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育室でも日差しや暖かい風が感じられるように、窓を開け開放感が味わえるようにする。 ○戸外遊び（砂遊び・バンバンカー・園庭散策） ○地域散策（<u> </u>広場・魚屋の<u> </u>） ☆戸外に出た際は、草花や生き物に触れてみせながら「きれいだね」などと言葉をかけ、身の回りの自然を感じ、楽しめるようにする。 			
	先月の園児の姿	・育ちに対するねらい ☆保育教諭の援助	<p>【園庭】</p> <p>【保育室】</p> <p><0あか組></p> <ul style="list-style-type: none"> 絵本を見よう 体を動かして遊ぼう (マット登り・手押し車)・バンバンカー 触れ合い遊びをしよう 手先を使って遊ぼう (ポットン落とし・ボール) 布ひざ掛け <p><1あか組></p> <ul style="list-style-type: none"> ままごとをしよう 指先を使って遊ぼう 体を動かして遊ぼう 絵本を見よう 飼育物 		
児（一歳〇か月）	<ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭がマグマグに手を添えて促すと自分で持って飲もうとする。 ・すり這いをしながら、保育教諭の所や興味をもった玩具の所へ行こうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マグマグの持ち手を自分で持って飲んだり、手でつまんで食べようとしていたりする。 ・保育教諭に見守られることで安心し、探索活動や体を動かすことを楽しむ。 <p>☆マグマグの持ち手に一緒に手を添え、自分で持つことを知らせながら「自分で」の意欲を育てる。</p> <p>☆少し離れた所から名前を呼び、ハイハイを促し、しっかりと体を動かせるようにする。</p>			
児（一歳〇か月）	<ul style="list-style-type: none"> ・おやつはよく食べるが、給食は一定量食べると進まなくなる。 ・つかまり立ちをしたり、階段を登ったりしながら探索することを楽しんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な食品の味に慣れ、食事を楽しむ。 ・伝い歩きや自分で立って歩こうとすることを楽しむ。 <p>☆「もぐもぐ」などと声をかけ、保育教諭と一緒に食事をする中で、楽しい雰囲気の中で食事ができるようにする。</p> <p>☆伝い歩きや立って歩けたときは一緒に喜び、気持ちを共有することで楽しめるようにする。</p>			
		保育資料	<ul style="list-style-type: none"> ○歌・手遊び（<u> </u>のほり・<u> </u>のうた） ○絵本（月刊絵本・<u> </u>） ○制作（オタマシヤクシ・シール貼り） ○運動遊び（マット登り・ボール遊び） 	行事	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭開放 ・春の遠足・保育参観日 ・眼科検診
		健康・安全・食育	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の健康を丁寧に観察し変化が見られた時は、早めに対応する。 ・外気浴をする場合は日照や気温・紫外線に留意する。 ・睡眠中は子どもの様子をこまめに観察し、SIDSの予防に努める ・保育室の遊具や玩具は清潔に保ち、口に入れてしまうと危険なものは置かないようにする。 ・様々な食材や形状に慣れ、食事の時間が楽しい時間となるようにする。 	の地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・<u> </u>広場（芝生の上を這ったり歩いたりする） ・魚屋の<u> </u>（魚を見に行く）
		対★すねら評価に	<p>・遠くへ歩いたりする距離が長くなり、行動範囲も広がり、音や声のする方へ自分から進んでいき、探索する姿を楽しめるようになった。</p> <p>・異年齢児や担任以外の保育教諭にも慣れてきて、声をかけられたり、虫を見せたり、お菓子をするとき手を伸ばして、関わり合うようになるようになった。</p>		